

「ABC 分類」 検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、下記項目につきましては、本年4月より認定NPO法人 日本胃がん予知・診断・治療研究機構から出された「新しいABC分類 胃がんリスク層別化検査(ABC分類)2016年改定版運用の手引き」に基づき、検査内容を変更させていただくことに致しましたので、取り急ぎご案内申し上げます。

誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

記

対象項目

- ABC 分類

変更期日

- 平成29年4月1日(土) 受付日分より

「胃がんリスク層別化検査(ABC分類)」改定について

ABC分類とは血液中のヘリコバクター・ピロリ抗体価とペプシノゲン値を調べることにより、胃がんリスク評価を行うもので、住民検診および職域検診、人間ドック等での使用が広がってきています。

今般、平成28年12月1日付で「胃がんリスク層別化検査運用研究会」から胃の健康度を調べる「ABC分類」検査のうち、ヘリコバクター・ピロリ抗体の検査試薬と判定基準、およびピロリ菌除菌者の取り扱いについて新たな運用基準が示されました。弊社と致しましても斯かる状況を踏まえ、本年4月1日より検査内容を変更させていただきます。

変更内容

変更内容	新	旧
検査項目名	胃がんリスク層別化検査(ABC分類)*1	ABC分類
検査方法 (判定基準)	ヘリコバクター・ピロリ抗体/ABC《EIA》*2 [栄研化学] 判定基準(陰性): 3U/mL未満 ※ペプシノゲンの検査試薬は変更なし	ヘリコバクター・ピロリ抗体《LA》 [栄研化学] 判定基準(陰性): 10U/mL未満
所要日数	2~6日	2~5日
専用報告書	「胃がんリスク層別化検査」報告書 (詳細は4頁をご参照下さい)	「ABC分類」報告書
備考	*1: ピロリ菌の除菌治療を受けた方の運用を開始致します。除菌判定の結果に関わらず、各群の判定は行わず、E群としてご報告致します。詳細は、次頁をご参照下さい。 *2: ヘリコバクター・ピロリ抗体/ABC《EIA》は、「胃がんリスク層別化検査」専用検査です。従来のLA法でのご依頼はお受け致しかねます。測定試薬は、Eプレート「栄研」H.ピロリ抗体IIです。	

※その他の検査要項に変更はございません。

ABCDの新判定基準(新旧比較)

「胃がんリスク層別化検査(ABC分類)」2016年度改訂版



ABC分類判定対象外

E (Eradication) 群 (除菌群)

ピロリ菌の除菌治療を受けた方は、除菌判定の結果に関わらず、ABC分類の判定の対象にはなりません。E群(除菌群)として区別します。

(「胃がんリスク層別化検査の運用について」を改定しております)

各群の受診者へのコメント(新旧比較)

【新・胃の健康度】

報告区分	新コメント	旧コメント	
分類	A群	健康な胃で、胃の病気になる危険性は低いですが、内視鏡検査をお勧めします。	健康な胃粘膜で、胃の病気になる危険性は低いと考えられます
	B群	少し弱った胃で、潰瘍等に注意下さい。内視鏡検査とピロリ除菌をお勧めします。	少し弱った胃です。胃潰瘍・十二指腸潰瘍などに注意が必要です。
	C群	萎縮の進んだ弱った胃粘膜です。定期的な内視鏡検査とピロリ除菌をお勧めします。	弱った胃の可能性があります。内視鏡による定期的検査をお勧めします。
	D群	萎縮が非常に進んだ胃粘膜です。かならず内視鏡検査などの診断を受けましょう。	弱った胃の可能性が高いと思われます。内視鏡による定期的検査をお勧めします。
	E群	ピロリ菌除菌治療を受けた方は、E群として定期的内視鏡検査を受けましょう。	未設定

※弊社報告書には、検査結果に伴い上記の各コメントでご報告致します。

各群の受診者への詳細なコメントは、「胃がんリスク層別化検査報告書」の裏面をご参照下さい。

ご依頼方法

「胃がんリスク層別化検査」はセット検査として運用させていただきます。依頼書でご依頼の際は [ABC] 胃がんリスク層別化検査 (D分類) とご記入下さい。

伝送でご依頼の際は、下表 (セット項目) の3項目をご依頼下さい。

セット名称	セット項目
[ABC] 胃がんリスク層別化検査 (D分類)	[2362] 胃がんリスク層別化検査 (D分類)
	[2361] ヘリコバクター・ピロリ抗体/ABC (EIA)
	[2118] ペプシノゲン：ラテックス

ピロリ菌の除菌治療後のご依頼方法

ピロリ菌の除菌治療を受けた方は、胃がんリスク層別化検査判定対象外となるため、ヘリコバクター・ピロリ抗体とペプシノゲンの測定値をご報告し、A、B、C、D判定は行わず、E (Eradication) 群としてご報告致します。

ご依頼の際は、依頼書に [E グン] 胃がんリスク検査/E 群 (D分類) とご記入下さい。

伝送でご依頼の際は、下表 (セット項目) の3項目をご依頼下さい。

セット名称	セット項目
[E グン] 胃がんリスク検査/E 群 (D分類)	[2363] 胃がんリスク検査/E 群 (D分類)
	[2361] ヘリコバクター・ピロリ抗体/ABC (EIA)
	[2118] ペプシノゲン：ラテックス

「胃がんリスク層別化検査」報告書(見本)

「ABC分類」検査報告書を下図の通り改版致します。また、報告書の名称を「胃がんリスク層別化検査」に変更致します。

【表面】

胃がんリスク層別化検査

検査№

<small>受診者名</small>	<small>様</small>	<small>年齢</small>	<small>性別</small>
<small>科名</small>	<small>科別№</small>	<small>検査日</small>	<small>年 月 日</small>
<small>担当医</small>	<small>診察ID</small>	<small>受付日</small>	<small>年 月 日</small>
		<small>検出日</small>	<small>年 月 日</small>

ABC D分類判定結果
 *** あなたの胃の状態 ***

A群
健康な胃

B群
少し弱った胃

C群
弱った胃

D群
かなり弱った胃

コメント

ABC D分類判定対象外
 E群(除癌群)
 ピロリ菌の除菌治療を受けた方は、除癌判定の結果に関わらず、E群(除癌群)として定期的に内視鏡検査を受けましょう。

※報告書の裏面をご覧ください。

ペプシノゲン/ヘリコバクター・ピロリの判定結果

検査項目	判定	検査項目	判定	測定値
ペプシノゲン		ヘリコバクター・ピロリ抗体(EIA)		U/mL
		判定基準(陽性)		3 U/mL以上

ペプシノゲン検査項目	測定値	判定	補 注
ペプシノゲン I	ng/mL	0 20 25 28 32 35 38 42 45 48 52 55 58 62 65 68 72 75 78 82 85 88 92 95 98 100	
ペプシノゲン II	ng/mL	0 12 15 18 22 25 28 32 35 38 42 45 48 52 55 58 62 65 68 72 75 78 82 85 88 92 95 98 100	
ペプシノゲン I / ペプシノゲン II 比		0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	
判定基準(陽性)	ペプシノゲン I : 70ng/mL以下かつペプシノゲン I / II 比 : 3.0以下		

医療機関
検査実施施設

検査責任者
株式会社LSIメディエンス インフォメーション
医療機関用: (03) 5504-2111

【裏面】

あなたの「胃の健康度」は

血液でチェックすることができます！

ペプシノゲン検査

+

ヘリコバクター・ピロリ抗体検査

胃の検診で多く実施されているのはバリウムを飲んでから行うX線撮影で、フィルムに写った胃壁の凹凸から胃の状態を見る検査です。この方法とは別に、2種の血液検査を組み合わせることによって「胃の健康度」を調べることができます。

A タイプ

おおむね健康的な胃状態で、胃の癌化になる危険性は低いと考えられます。生活習慣病などピロリ菌に感染しない病気に注意しましょう。未感染の可能性が高いですが、一部にはピロリ菌の感染や感染の既往がある方が含まれます。一度は内視鏡検査などの検査検査を受けることが理想的です。

B タイプ

少し弱った胃状態です。胃かしよう・十二指腸かしようなどに注意しましょう。内視鏡検査を受けましょう。ピロリ菌の除菌治療をお勧めします。

C タイプ

腸壁の荒れた弱った胃状態と考えられます。胃がんになりやすいタイプと考えられます。定期的な内視鏡検査をお勧めします。ピロリ菌の除菌治療をお勧めします。

D タイプ

腸壁が非常に荒れた胃状態と考えられます。胃がんなどの病気になるリスクがあります。ピロリ菌感染診断をお勧めします。かならず専門医療機関で内視鏡検査などの診断を受けてください。

E タイプ

ピロリ菌の除菌治療を受けた方は、除癌判定の結果に関わらず、E群(除癌群)として定期的に内視鏡検査を受けましょう。

		ヘリコバクター・ピロリ 抗体検査	
		陽性(-) ^{※1}	陽性(+)
ペプシノゲン検査	陽性(-)	A タイプ	B タイプ
	陽性(+)	D タイプ	C タイプ

(注) 一般診療において、ピロリ菌検査はピロリ菌抗原検査(抗体検査)と判定(陽性/陰性)が一般的です。胃がんリスク層別化検査(A B C分類)では、A群にピロリ菌感染・感染の既往があることを除外するため、ピロリ菌抗体検査B判定を陽性と判定しています。

監修：一般財団法人胃癌学会癌管理センター 井上和郎

*縮小して掲載しています。